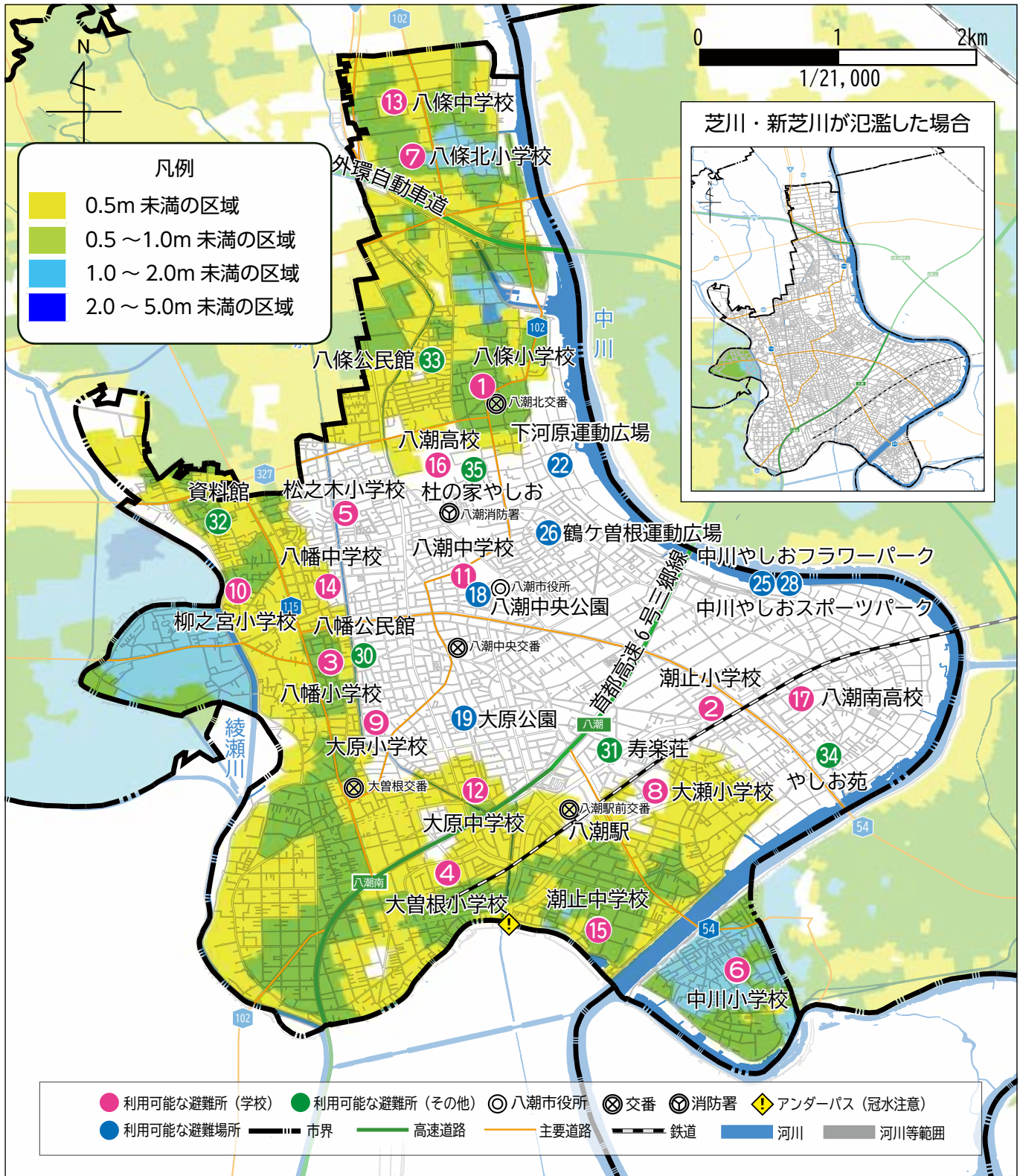


中川・綾瀬川・元荒川・大落古利根川・ 新方川・芝川・新芝川が氾濫した場合

浸水想定区域 中川、綾瀬川、元荒川、大落古利根川及び新方川が氾濫した際に発生する浸水の範囲と深さ



- この浸水想定区域等は、現在の河道、調節池、放水路などの整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね 100 年に 1 回程度起こる大雨が降った時に、中川・綾瀬川・元荒川及び大落古利根川・新方川の水位が上昇し、堤防が決壊または堤防から越流した場合及び、流域内の地形条件などにより内水氾濫した場合に、想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- なお、雨の降り方や土地利用形態の変化などにより、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- また、この浸水想定区域図は、利根川や江戸川、中川、綾瀬川の国管理区間、中川・綾瀬川・元荒川及び大落古利根川・新方川流域外の河川の氾濫を考慮していないため、その影響が考えられる区域では、別途、当該河川の浸水想定区域図を参照する必要があります。
- 指定の対象となる計画降雨は、昭和33年9月型洪水（狩野川台風）です。